

Sustainability report
2023

the Recycler

for the sustainable Earth

創ること、次を産みだすこと。
それを継続させるための根底にある産業でありたい。



〒123-0841 東京都足立区西新井5丁目35番13号

<https://www.yama-take.co.jp>



循環型社会を担う企業としての 誇りと責任を持って未来に貢献します。

私たちは、鉄・非鉄のリサイクルと廃棄物処理を主な事業とし、
効率的な資源の再利用を実現するため、歩を進めてまいりました。

ISO14001 に適合した環境マネジメントシステムを整備し、
明確な方針の下でリサイクル活動を行っています。

やまたけの事業活動に伴う環境および安全への取り組みについて、
ステークホルダーである皆さまへご報告を申し上げるべく、
「サステナビリティ・レポート 2023」を発行する運びとなりました。

これまで私たちは廃棄物から純度の高い資源を作り出すため、分別技術の向上や
処理技術の開発などに継続的に取り組み、

2015年10月より本格稼働を開始した選別ラインの新導入によって
年々、廃棄物削減量、有価物回収量ともに大幅に増加させて
環境保全へとより良い結果をもたらすことができました。

また、「じゅんかんコンビニ」や「PC解体教室」など、地域に密着した取り組みを通し、
人びとの暮らしに寄与することも、私たちだからこそできる社会貢献だと自負しております。
今後は、本格的な古紙事業の参入など、新たな取り組みにも果敢にチャレンジし、
企業としてさらなる発展を目指していく考えです。

リサイクルと廃棄物処理は、循環型社会を推進する事業として、
人びとが安心して生活を送るうえで欠かすことのできないものです。

この事業に取り組む、弊社の社員一人ひとりが、誇りと責任を持って日々の業務にあたること、
また、それを実現できる環境を整えることにも、努めていく所存です。

「純度の高い資源を作り出し、新たなものづくりに還元していく」この使命を完遂するべく、
私たち、やまたけは、これからもさまざまな取り組みを進めてまいります。

目次	Message メッセージ	2
	Material balance マテリアルバランス	2
	Environmental countermeasure 事業活動における環境対策	4
	Sustainable report サステナブルレポート	6
	Commitment to the SDGs SDGs への取り組み	8
	Security action 情報セキュリティへの取り組み	9
	Social action program 環境社会貢献活動	10

報告方針 本報告書は、環境省「環境報告書ガイドライン（2012年版）」を参考とし、現在
求められている脱二酸化炭素の企業の取組、弊社の環境に関する考え方や安全へ
の取組をお客様にご理解いただける事を心掛け、作成しております。

報告対象組織 株式会社やまたけ（本社、三郷営業所、土浦営業所）

報告対象期間 2023年度（2023年4月～2024年3月）
※これ以外の期間に集計した数値などは、その旨を該当ページ内に明記しました。

媒体 ホームページでも部分的に詳しく掲載しております。

発行 2024年12月

Material balance

マテリアルバランス

事業活動で必要とされる資源量やエネルギー量と、
それに伴う廃棄量や排出量の関係を表しています。
当社では、事業活動において発生する
環境負荷データを把握、集計、分析し、
これらの削減に取り組み、環境効率向上に努めていきます。

※データ集計範囲は本社および2営業所（2023年度実績）です。



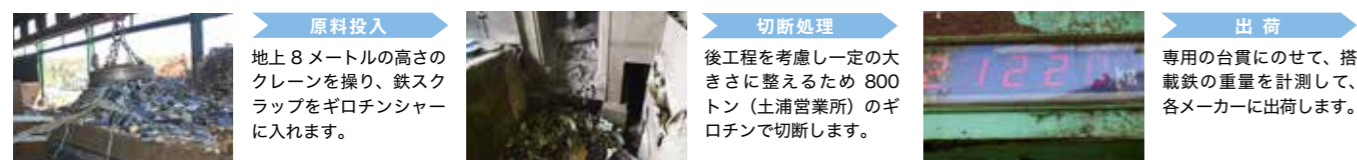
当社は、主な事業である鉄・非鉄リサイクル事業および産業廃棄物処理業を行うにあたり、業務活動のあらゆる面で資源の有効活用、廃棄物の適正処理、環境汚染および事故の未然防止、省エネルギーの推進などに留意し環境保全を目指しています。

鉄・非鉄リサイクル事業

集められたスクラップから、これまで培った豊富な経験と卓越した技術で鉄と非鉄を選別。品質、純度、需要量、市中供給量、相場を勘案して製鋼原料として出荷し、国内のみならず世界の鉄鋼産業を支えています。

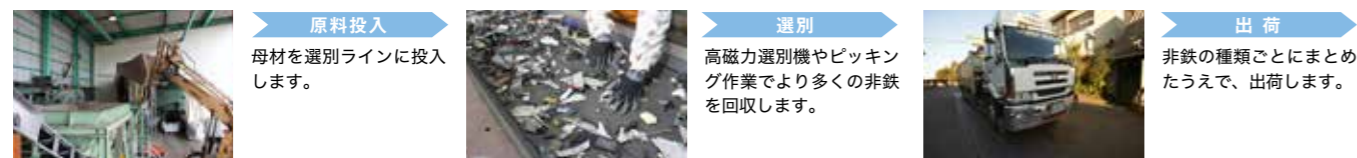
鉄リサイクル作業フロー

鉄スクラップは、ギロチンシャーに入れられた後、一定の大きさに揃えるため切断処理を実施。切断された鉄は、品種ごとに保管し、製鋼原料として出荷します。



非鉄リサイクル作業フロー

高磁力非鉄選別機や人の手によるピッキング作業によって、非鉄を回収。種類は、多種多様であり、ピッキングの作業時には品種を見極める素早い判断と経験が必要になります。

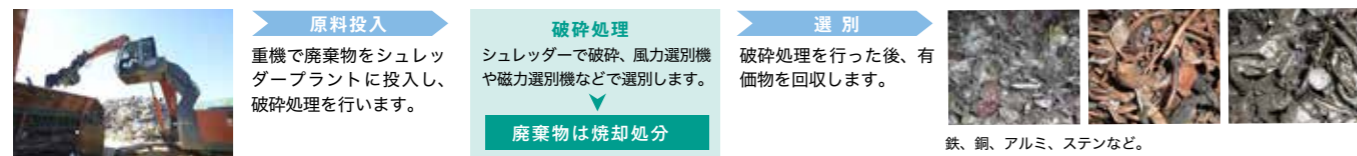


産業廃棄物処理、収集運搬事業

企業様や一般のお客様からお預かりした廃プラスチックや木くず、ガラス陶磁器くず等の廃棄物から、有用金属や再利用できる品物を選別。コンプライアンスを徹底し、最終処分まで責任を持って遂行しています。

産業廃棄物処理作業フロー

廃プラスチックや木くず、ガラス陶磁器くず等が混在している産業廃棄物。それらをシュレッダーで均一な大きさに粉砕。マテリアルリサイクルを念頭に機械で破碎と選別処理を行い、有用金属や再利用できるものを取り除いています。その際にでてしまう廃棄物はサーマルリサイクルへ。シュレッダープラントには爆発制御装置、粉塵飛散防止装置を設置しています。



収集・運搬サービスフロー

収集・運搬は法律で細部まで定められており、法改正などの情報収集や共有を絶やさず行い、「迅速、丁寧、安全、遵法」をポリシーに作業しています。経験豊富なドライバーが、用途に応じた合計 20 台の車両を使い分け、お客様のもとへ。道路交通法を遵守し、積載物の飛散や落下防止に努め、安全に最大限の注意を払い、作業を実施します。

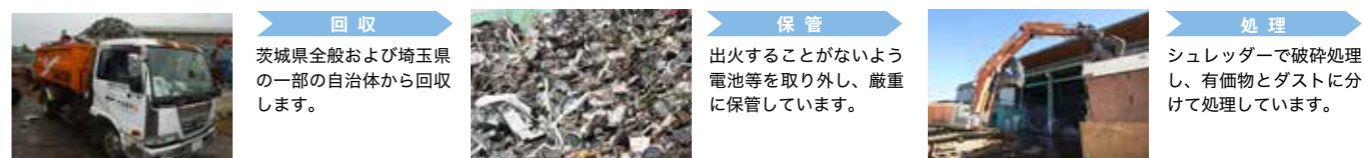


小型家電リサイクル事業

最新家電製品は日々進化し、買い替えた分だけ不要となる時代です。パソコンなどの小型家電を適切に処理し、少ない資源を有効に未来に残していくため日本の小型家電リサイクルに貢献しています。

小型家電リサイクル作業フロー

2013 年 4 月に施行された使用済み小型家電リサイクル法に則り、リバーホールディングス株式会社様の協力事業者として茨城県全域および埼玉県の一部の自治体から回収し適正処理を実施しています。小型家電処理時に有用金属を回収し、高品質な原料代替品として有効利用するため技術確立しリサイクルを行っています。

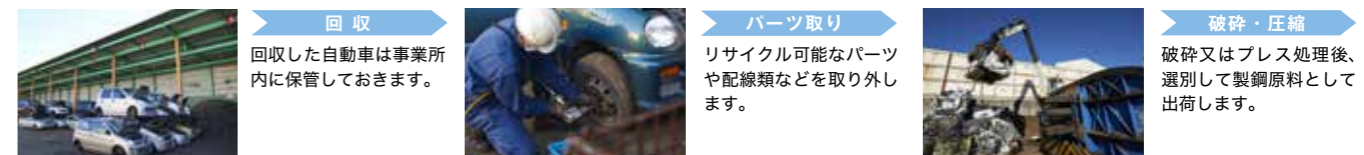


自動車リサイクル事業

お客様から回収させていただいた自動車をできる限り捨てるものが少なくリサイクルできるように、有用部品等の採取はもちろん、全ての液体も個別に抜き取る処理を実施。自動車リサイクル事業で自動車大国日本を支えていきます。

自動車リサイクル作業フロー

回収した自動車は解体後、リサイクルパーツや配線類の取り外しを行い、シュレッダーでの破碎又はプレス処理後、選別を経て、製鋼原料として出荷。燃料からオイル、ウィンドウォッシャー液など全ての液体は専用器材で個別に抜き取ってリサイクルしています。

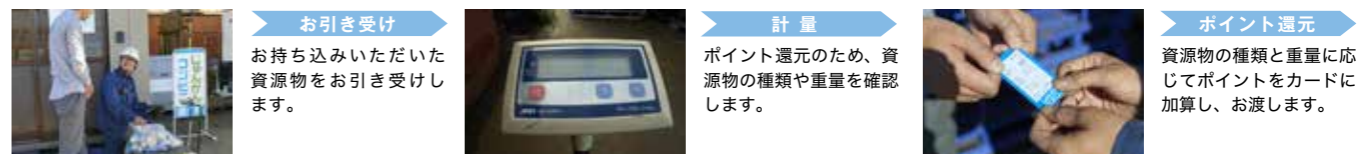


じゅんかんコンビニ

お持ち込みいただいた資源物に応じてポイントを還元し、適性な処理によってリサイクルする「じゅんかんコンビニ」を実施中です。また、古紙リサイクルやプラスチック分別力の向上にも積極的に取り組んでいます。

じゅんかんコンビニサービスフロー

お持ち込みいただいた資源物に応じてポイントを還元し、適性な処理によってリサイクル。貯まったポイントはコンビニエンスストアで利用できる Quo カードと交換します。



環境配慮経営強化のための目標値

スコープ1

全ての営業車をHV車に

- EV車の現在のバッテリー性能や電気スタンドのインフラ状況を踏まえると、営業車をEV車にする事は営業機動力上いささか困難です。
- まずは、十数台の営業車全てを2025年迄に全てHV車にする事から着手しています。
- 今後技術革新やインフラ整備が進み、EV車の営業車活用が現実的になった際には速やかに、EV車への移行を進める事といたします。

実現時の二酸化炭素削減量

事業活動に伴う二酸化炭素排出

当目標達成時のCO2削減値

20t -CO2

- ※計算根拠：
1. 環境省グリーンバリュープラットフォーム上のガソリン燃焼時の排出原単位を活用
2. HV化によるガソリン削減目安を40%とした

スコープ2

社内全ての電力を再生可能エネルギーに

- 現在、弊社本社、土浦営業所、及び三郷営業所で電力を使用しています。
- 2022年事業年度内に、土浦営業所の全ての使用電力を再生可能エネルギーに移行する事から着手しました。
- その後も引き続き、本社及び三郷営業所においても再生可能エネルギーへ移行し、2024年事業年度終了までに、弊社が利用する全ての電力を再生可能エネルギーとする予定です。

電力発電時の二酸化炭素排出

当目標達成時のCO2削減値

580t -CO2

- ※計算根拠：
・弊社の年間電力使用量に電力会社が発表している排出係数を乗じ算出

<ご参考>CO2の削減値について

- 一般家庭の一世帯当たりの年間エネルギーCO2排出量は、2.91t-CO2(※)
※環境省 令和2年度家庭部門のCO2排出実態統計調査結果の概要から引用
- そのため、弊社が再生可能エネルギー由来の電力で削減できるCO2削減量は、平均的一般家庭の約200世帯分の年間エネルギーCO2削減量とほぼ同じ値となります。

その他のサステナビリティ高度化に向けた弊社取り組み

LED照明の活用

- 弊社では、本社、土浦営業所、及び三郷営業所で計116本の蛍光灯を用いています。
- この116本の蛍光灯のうち、55%に相当する64本の蛍光灯をLEDに変更しております。
- また、2025年迄に全ての蛍光灯のLED化を進める計画としています。
- 弊社全電力を再生可能エネルギーとする計画のため、当活動による二酸化炭素削減効果はありません。

重機を末永く使う

- 現在、弊社本社、土浦営業所、及び三郷営業所で数十台の、バックホーやフォークリフトといった重機を用いています。
- 社内にメンテナンスチームを組織化し、適正な重機メンテナンスを行う事で重機を末永く活用する努力を重ねて参ります。

スコープ3

主として、排出事業者様や中間及び最終処理業様といった弊社のお客様が排出する二酸化炭素排出削減のための取り組みがスコープ3です。

排出事業者様の二酸化炭素排出削減のための支援策例

鉄・非鉄スクラップ、及び産業廃棄物処理業に携わる企業として、上流のお客様の二酸化炭素削減のための代表的支援策は次のとおり。

支援策1	収集運搬時、適切な配車を行い運搬効率を向上させる事で、無駄な運行削減を進める。
支援策2	お客様の廃棄物等の収集ハブステーションの一つとして機能し、お客様の廃棄物等の運搬効率アップに寄与する事で、お客様の廃棄物運搬時に発生する二酸化炭素排出削減を進める。

排出事業者様の二酸化炭素排出削減のための取り組み支援は現時点では努力目標とし、具体的な目標値は当面設定しない事といたします。

中間及び最終処理業様の二酸化炭素排出削減に向けた取り組み支援策例

支援策	弊社の企業理念：人・地球に誠実なりサイクラーを具現化し、選別・分別をより進め、排出物の純度を上げる事でマテリアルリサイクル率を上げると共にサーマルリサイクル率を下げる事で、焼却廃棄物低減へ寄与。
-----	---

当支援策は弊社の本来業務であり、日々の業務で取り組んでいる事ではありますが、当取組による二酸化炭素排出量計算は極めて困難である事から、具体的目標値は当面設定しない事といたします。

弊社協力企業(運送会社様)の取り組み支援策例

支援策	民間企業に求められている温室効果ガス排出削減動向を知っていただく努力を重ね、運搬車両の二酸化炭素削減策を講じる支援をする事。
-----	--

現在販売されている中・大型自動車のHVやEV車のラインナップは限られていることに加え、中・大型自動車の投資負担は決して軽くはないことから、今後、少しずつ温室効果ガス排出削減を見据えた取り組みを進めていただけるよう、協力運送会社様に寄り添い、お取引を進めさせていただく方針といたします。

REアクションへの参加

- 再エネ100宣言 RE Actionとは、企業、自治体、教育機関、医療機関等の団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです(https://saiene.jp/から引用)。
- 当アクションの考え方に賛同し、2022年から当アクションへ参加しております。



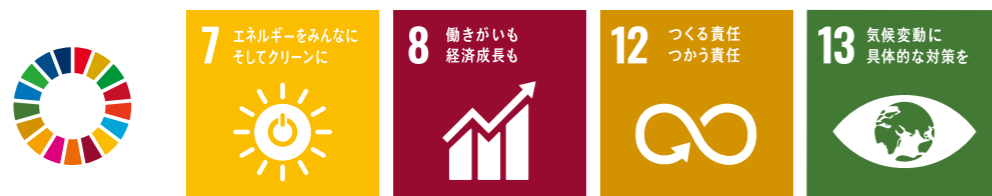
お客様の二酸化炭素排出削減支援パートナーとして

- サステナビリティに向けた取り組みは、弊社ではまだ手探り状態ではありますが、当レポートで弊社が現在着手している事を中心に記載しています。
- 当レポートを作成する過程の中、鉄・非鉄スクラップ及び産業廃棄物処理業に携わる弊社が、お客様のサステナビリティに向けた取り組みをご支援する方法は数限りなくあるという事を、改めて感じました。
- 当レポートで述べた事に加え、弊社経営理念で掲げる5つの誠実(「安全」、「技術」、「お客様」、「自ら」、そして「未来」に誠実であること)の中でも、特に、「技術」、「お客様」、そして「未来」に誠実である事をより追及し、お客様の二酸化炭素排出削減支援パートナーとして機能出来るよう、日々努力して参ります。

代表取締役社長 山口 大介

私達、やまたけは、持続可能な開発目標 (SDGs) に取り組んでいます。一民間企業としての社会的責任を果たすため、弊社が少しでも貢献できる、以下の開発目標に対する活動に着手いたしました。

SDGs への取り組み



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

弊社工場

主として、以下2つの工場で事業を営んでいます。

土浦工場

茨城県かすみがうら市にある敷地面積約 32,000 m²の工場で、約 50人のスタッフが事業運営に従事。

三郷工場

埼玉県三郷市にある敷地面積約 6,000 m²の工場で、約 25人のスタッフが事業運営に従事。

弊社の貢献努力

工場が一定規模あることから、各工場で多くの電力や化石燃料等を使用します。可能な範囲で、工場の LED 化を進めると共に、機械設備類の省エネ化による CO2 削減、重機、車両類のハイブリット導入による化石燃料の削減を図っていきます。

12 つくる責任 つかう責任

弊社業務

弊社の代表的業務は、長年蓄積したノウハウを活用し、お客様からお引き受けした「産業廃棄物」や「鉄・非鉄等スクラップ」から資源を抽出し、素材メーカー等に還元 (マテリアルリサイクル) する事です。

どうしても資源化出来ない廃棄物等だけを、焼却 (サーマルリサイクル) や埋め立て処理する事としています。

弊社の貢献努力

今後も継続して、マテリアルリサイクルを推進する事で、SDGs への貢献努力を継続いたします。

更に、マテリアルリサイクル率を高めるため、より細かい選別や仕分けを行い、焼却 (サーマルリサイクル) や埋め立て処理割合を減じていきます。

加えて、現行ノウハウに満足する事なく、新技術開発を進めリサイクル技術向上の不断の努力を行います。

8 働きがいも 経済成長も

現行参入事業を少しずつ拡大しながら、弊社の特徴を活かした新規展開を進めます。

当取り組みにより、新たな市場参入を実現し雇用拡大を進め、より多くの社員の方々に活躍頂ける「場」を拡大出来る努力を継続します。

更に、職場環境や社内体制の整備を進め、社会福祉法人の協力を仰ぎながら、障がい者の方々も活躍出来る「場」を拡大する努力を継続して行います。

13 気候変動に 具体的な対策を

弊社ビジネスと気候変動との関係

以下を進めると共に、排出事業者の方々への啓蒙活動も行い、気候変動に影響を与える因子を減じる努力を行っていきます。

① 蛍光灯の適切なリサイクル

- 1) 蛍光灯には水銀が含有されています。
- 2) このため、蛍光灯リサイクルには一定の許可を取得した業者が、定められた条件での回収を行う事が義務付けられています。
- 3) 弊社は当許可を取得し蛍光灯の適切なリサイクル推進を進めています。

② フロンの回収

- 1) お客様からお預かりした産業廃棄物等には、稀にフロンが含まれている事があります。
- 2) フロンを関連法制に則り、適切な処理を図り、フロンの拡散防止に寄与します。

弊社の貢献努力

工場が一定規模あることから、各工場で多くの電力や化石燃料等を使用します。

可能な範囲で、工場の LED 化を進めると共に、機械設備類の省エネ化による CO2 削減、重機、車両類のハイブリット導入による化石燃料の削減を図っていきます。

リサイクルと廃棄物処理を行うにあたり、全営業所の 24 時間監視体制の導入や回収したハードディスクの物理破壊処理を実施するなど、情報漏えいを防ぐために細心の注意を払い、情報セキュリティ対策への徹底に努めています。

24 時間セキュリティ監視

部外者の侵入を防ぐための入退室管理並びに、廃棄物を扱う営業所には侵入者による盗難などを防ぐため 24 時間監視のセキュリティシステムを導入しています。

また個人情報の取り扱いもある営業所では、警備会社と連携した 24 時間監視によって、不審者の侵入や盗難を防いでいます。



ハードディスクの物理破壊処理

不要になったパソコンや周辺機器は、手解体処理によって、有用金属を回収し処分。マテリアル原料へとリサイクルしています。物理破壊処理作業では、専用の作業空間で「ハードディスクの物理破壊処理」を実施。個人情報などのデータ漏えいや他社による悪用防止に努めています。



<SDGs への取り組みに関する活動例>

蛍光灯の破碎・リサイクル

近年 LED への付け替え工事の増加で、不要になった蛍光灯を処分する機会が増えています。やまたけでは蛍光灯の処分リサイクルを行っており、蛍光灯に含まれる有害な水銀を回収しながら破碎を行うことで、安全な作業環境での処理を実現しています。ガラス・金属の再資源化とともに、水銀は試薬等として再利用されています。

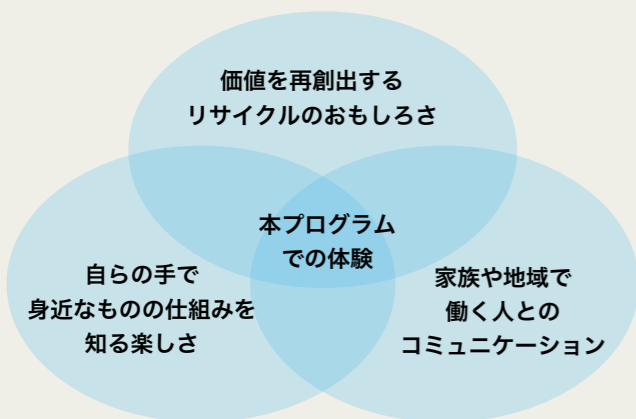


当社では、「事業を展開している各地域の方々の協力があってこそ、企業活動が成り立つ」という考えのもと、地域社会発展のため、さまざまな環境社会貢献活動へ積極的に取り組んでいます。

未来のたからプロジェクト

地域産業や子どもたち、また限りある地球資源など、さまざまな「たから」を守り続けることを目指し、「未来のたからプロジェクト」と称して、さまざまな活動を展開しています。社内一丸となって、プロジェクトを推進していけるよう、活動の社内広報や社員の意識向上にも取り組んでいます。
※新型コロナウイルス感染症予防の観点から現在は活動を見合わせています。

「未来のたからプロジェクト」の目的



新たなものづくり
循環型社会へ貢献

「未来のたからプロジェクト」の展開予定

- **環境教育プログラム**
「リサイクルっておもしろい！」リサイクルを体験し感じてもらう
- **やまたけエコ祭り**
循環型の地域を目指し、地域の皆さまと学び・遊び場を開催
- **やまたけコンポスト**
地域の生ごみを収集・堆肥化して配布を予定
- **地域農業支援**
コンポストや直売コーナーの設置等で地産地消を支援
- **じゅんかんコンビニ**
資源物を買ってポイント還元
- **リサイクル工場見学ツアー**
エコを学ぶ“大人のための”社会科見学実施



環境フェスタみさと 2019

「環境フェスタみさと2019」は、“ゴミを出さない工夫でエコライフを実践しよう!”をテーマに、資源回収やエコクラフト体験を通じ、環境問題について学ぶイベントです。地域イベントへの参加を継続していくことで、地域社会との交流を深め、企業活動へのご理解をいただくことに繋がっていきます。

活動成果のご紹介

2019年9月29日で7回目の参加となり、家電のお持ち込みが途ざれることなく続きました。「じゅんかんコンビニ」にて小型家電等を403kg収集。普段から当社にお持ち込みいただいている方やリピーターの方もご来場いただき、地域の皆さまとの交流を深めながら、リサイクルへ貢献できました。



「花がいっぱい事業」に参加しています

かすみがうら市とかすみがうら市緑化推進協議会が主催している「花いっぱい事業」に2017年から参加しました。かすみがうら市の美しい自然を守り、明るく住みやすいまちづくりに貢献するため、道路沿いの花壇へ植栽事業のお手伝いをしています。



近隣の清掃運動「クリーン大作戦」を始めました。

社会貢献活動の一貫として、地元周辺の清掃活動を2019年8月5日に行いました。オリジナルのTシャツも作成し、ご家族の方への参加も呼びかけ、実施しました。



障がい者雇用の推進を図っていきます

2017年2月より、知的障がい者の雇用に取り組んでいます。小型家電の配線（電源ケーブル）切りや、電池の抜き取り、軽度の解体、選別ラインでの作業などが主な業務内容です。障がいを持つ人それぞれの能力や個性を尊重し、職業を通して自立した生活を実現できるよう、今後も障がい者雇用の継続に努めます。